

経題

ほとけのときたまえる

仏説

まかはんにやはらみったしんぎょう

摩訶般若波羅蜜多心經

一、^{にんぽうそうつうぶん}人法總通分

^{かんじざいぼさつ}觀自在菩薩

(は) ^{じんはんにやはらみった}深般若波羅蜜多 ^{ぎょう}を行ずる

^{とき}の時 ^{ごうんかいこう}五蘊皆空なりと ^{しょうけん}照見して ^{いっさい}一切の

^{くやく}苦厄 ^どを度す

〔解説〕

般若心經は、大般若菩薩のお悟りの境地を示した大心真言を説いたお経であります。

仏教のすべての行者は、般若菩薩の深遠な教えを実践するとき、「一切のものは空である。」と気付きます。そうして、あらゆる苦しみや災いを乗り越えることができると教えています。